

令和3年(2021年)6月

雪谷青少対だより

ゆきがや

題字揮毫 月居 利久

皆様と共に歩む所長として

雪谷特別出張所 所長 菱沼 研一郎



日頃より、青少年対策雪谷地区委員の皆様には青少年活動の支援に、様々な行事などを企画、運営していただいていることに深く感謝申し上げます。

令和三年四月より雪谷特別出張所長に着任しました菱沼研一郎です。

私は区職員として、これまで、教育、

出張所、清掃、まちづくり、人事など

様々な分野で、区民の皆様の福祉向上に

取り組んできました。とりわけ、出張所

の青少対担当として、委員の皆様や子どもたちと一緒にテントを設営したり、飯

ごう炊飯をしたりするなど、一緒に汗を

かいたことがとても良い経験として残つ

ています。また、その時の子どもたちの笑顔がとても印象的でした。

今はコロナ禍の中にありますが、感染症拡大が早く収束し、人と人のふれあいや子どもたちの笑顔が戻り、次代を担う

青少年が健やかに成長していくことを願つてやみません。

地域ぐるみで青少年を見守り、家庭、学校、地域団体などが連携して育むことができますよう、引き続き皆様のお力添えをよろしくお願ひいたします。

私も皆様と共に歩む所長として、「雪谷の良風」の力となるべく全力を尽くして参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

地域の一員として

雪谷中学校 校長 柳 歓子



本年度、雪谷中学校 校長に着任いたしました、柳歓子です。よろしくお願ひいたします。

三月までは同じ区内の馬込中学校校長として勤務しておりました。

青少年対策地区委員の皆様には、ガーデンパーティーをはじめ、様々な行事・

体験を通じて大変お世話になり、深く感

謝しております。

これまで、生徒たちが地域の行事に参 加し、いきいきと活動する姿を見てきました。

地域の大人と一緒に活動し、大人を手助けしたり、小さい子どもたちの世話をしたりすることは、中学生にとってとても誇らしい経験ですし、中学生を大きく成長させてくれます。

現在は感染症対策で活動できない状況

もありますが、学校で地域について学ぶなど、工夫しながら、子どもたちが地域社会の一員として自覚と誇りを持ち、健

生まれているようです。それは、笑顔で身に着けた知識や技能を生かす方向性を、前述の活動から見いだす事により、学習への意欲が高まるという、好循環が生まれているようです。それは、笑顔で挨拶を交わし、落ち着いた学校生活をする姿に表れています。

昨年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症により前述の活動のほとんどを中止せざるを得ない状況でした。現在も終息が見えない状況ですが、出来る事を模索しながら一步ずつ前に進めて行きたいと思います。

今後とも、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

持続可能な社会づくりのために

大森第六中学校 校長 菅野 哲郎



本校が標記の研究を始めて十年の時が経ちました。この間、避難所の運営を中学生が担う学校防災訓練、洗足池公園の清掃や洗足池の水質改善・ホタル再生、大岡山駅前の花壇の整備など、地域の方々のご支援・ご協力の下で、地域に貢献する意識を生徒に育んで参りました。

生徒は、教科の授業を始めとする学習で身に着けた知識や技能を生かす方向性を、前述の活動から見いだす事により、学習への意欲が高まるという、好循環が生まれているようです。それは、笑顔で挨拶を交わし、落ち着いた学校生活をする姿に表れています。

こんにちは 雪谷青少対です

青少対って?

青少年対策地区委員会の略称で、大田区内18か所の特別出張所ごとに設けられ、地域の青少年の健全育成を目的として様々な活動を行っています。
雪谷青少対は、自治会、学校、PTA、民生委員、保護司などから選ばれた63名の委員で構成されています。
私たちは、友を愛し、地域を愛し、自分を愛することのできる子どもたちを育むことを目指して一人ひとりが持つ力を合わせて活動しています。

雪谷青少対の活動

4月 子どもガーデンパーティー

大田区内10か所の会場で、同日に開催される大イベント!!
洗足池会場は、久が原・雪谷・千束青少対が合同で、地域の小学校・中学校のPTAやおやじの会等の協力のもと開催しています。
洗足池公園の地形を生かしたアスレチックが大人気!
子どもたちの笑顔が溢れます。



8月 子ども夏のつどい

ジュニアリーダーが主体となり、雪谷地区の小学生(4・5・6年生)と青少対委員がバスで一緒に研修です。自然の中でのウォークラリーや飯盒炊爨でのカレー作り、夜には、キャンプファイヤーでダンスや歌を歌い親睦を深め、学校や学年を超えた絆が生まれます。
夏休みの楽しい素敵な思い出になります。



10月 雪谷地区9自治会スポーツまつり

雪谷地区9自治会と青少対が協力して開催する大運動会!!
子どもから大人まで楽しめ、競技を通じて地域のコミュニケーションを図ることを目的に行っています。
自治会対抗の世代別リレーは、Standing ovation!!



通年 青少対委員研修会

令和2年度のテーマ《ヘアドネーション》令和2年10月29日実施
小児がんや先天性の脱毛症、事故などで頭髪を失った18歳以下の子どものために寄付された髪の毛でウィッグを作り、無償で提供する活動です。
実際に髪の毛を提供している青少対委員(杉山さん・齋藤さん)に話を聞き研修しました。
知らないことがたくさんあり、とてもいい研修になりました。
*一人の子どもにウィッグを贈るのに、31cm以上の長さの髪の毛が約30人以上必要。



青少年委員の活動

「ヤングフェスOh!!盛祭」の企画運営や成人のつどい・OTAふれあいフェスタなど青少年関係団体が行う青少年育成に係る行事や事業に協力し、地域で自主的・自発的に社会的教育活動を展開できるように、見守り援助を行う役割を担っています。

5月 少年野球・女子ソフトボール大会

地域のチームによる白熱した対抗戦が繰り広げられます。



小学生のサッカーチームが元気いっぱいの試合を行います。



11月 サッカー大会



スポーツ推進委員の活動

区民スポーツまつり・OTAウォーキング・寿ハイキング・おおたスポーツ健康フェスタ等大田区で行うスポーツに関する事業の協力や、スポーツの実技指導や助言を行い、地域型スポーツクラブの立ち上げにも協力しています。

7月 洗足池ホタル観賞会

夏のひと時に、洗足池で涼しみながらホタルの明かりを楽しみましょう。



3月 雪谷こどもスポーツ体験会

雪谷地区の小学生を対象に、様々なスポーツを体験してもらう場を企画しています。



通年 リトルリーダー講習会

(年間8回 小学校4・5・6年生対象)

調布地区6地区合同で行う小学生の育成プログラムです。
社会活動、野外活動のスキルを身につける企画がいっぱいです。



令和3年度 大田区青少年対策雪谷地区委員会委員名簿

役職	氏名			
会長	石垣 晴子			
副会長	清水 威徳 月居 利久 永久保 美代子(ス) 高島 七重(青)			
会計監査	御子神 典雄 山田 信也			
広報部	部長	井田 美由貴(ス)		
	副部長	金子 南美子	松田 匠子	
	委員	杉山 鈴子 森井 恵美子	八木 晴美 舟越 世津子	
研修部	部長	齋藤 富美子		
	副部長	吉武 知子	山田 信也*	
	委員	米川 千穂子 齊藤 祥子 網川 英樹 今野 仁人	竹内 雅夫 佐藤 新治郎 小澤 応 向後 真樹 秋山 正彦 蓮池 崇 外野 公美	
ジュニアリーダー部	部長	柳中 規男(青)		
	副部長	田島 道治	江口 潤司(青)	
	委員	豊田 哲行 大濱 英郎 峯 滋 鈴木 開一朗 内田 進	國府方 亮 辰巳 邦子 井上 修吾 永竹 弘幸 小澤 弘太郎 伴 歩(ス) 船橋 健治 内田 智明	
行事部	部長	上原 孝一		
	副部長	田島 政文(青)	御子神 典雄*	
	委員	加藤 秀雄 須綱 俊一 海老澤 圭介(ス) 川口 真人	綱嶋 昭夫 高橋 浩二 平野 悟 飯本 保 酒井 俊一 馬橋 靖世	

*兼務者 (青)…青少年委員 (ス)…スポーツ推進委員

役職	氏名	
学校	池雪小学校長	稻垣 敏朗
	小池小学校長	松橋 尚子
	雪谷小学校長	八木 貴広
	貝塚中学校長	田谷 至克
	雪谷中学校長	柳 歆子
	大森第十中学校長	今井 兼一
	大森第六中学校長	菅野 哲郎
	石川台中学校長	村上 昭夫
顧問・参与	顧問	海老澤 信吉 森井 郁夫
	参与	大島 章夫 大槻 生
		野邊 晴子 直井 晓和 関 千代子

自治会長	
笹丸自治会	大森 和好(代行)
雪谷石川台自治会	手塚 一
希望ヶ丘自治会	小松 克一郎
南雪谷自治会	宮崎 肇
東雪谷東中自治会	松岡 清明
東雪谷自治会	永久保 孝治
池の台自治会	前川 忠成
小池自治会	森井 郁夫
上池上自治会	海老澤 信吉

事務局	
雪谷特別出張所	

発行日 2021年6月4日(金)
編集 大田区青少年対策雪谷地区委員会
広報部
発行 大田区青少年対策雪谷地区委員会
事務局 大田区雪谷特別出張所
〒145-0065
大田区東雪谷三丁目6番2号
電話 03-3729-5117
FAX 03-3729-1826
©2021 雪谷特別出張所 無断転載をお断りします。

今年度より青少対だより「ゆきがや」の発行時期を年度のはじめの6月に変更いたしました。
今号では新しくご着任なさいました方々のご紹介と、青少対の例年行つてゐる主な活動を簡単に紹介させていただきました。
私たち青少対委員は昨今の状況の中でも、雪谷の子供たちが明るく・元気にはのびのび成長できるように、何か出来ることはないかを考え、活動して行きたいと思っています。
今後とも、青少対の活動に、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。
最後になりましたが、雪谷青少対だより「ゆきがや」発行にあたり、ご協力いただきました皆様に厚く御礼申しあげます。

